

【草花の部屋】

アジュガ (シソ科キランソウ属 Ajuga reptans)

和名：アジュガ

別名：西洋十二単(セイヨウジュウニヒトエ)、西洋金瘡小草(セイヨウキランソウ)

英名：Ajuga、Bugle

シソ目 常緑多年草

原産地：ヨーロッパ、アジア

花言葉：心休まる家庭、強い友情

花色：青紫、桃、白



←\ 写真-1、2 アジュガ

撮影日：2020年04月19日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



↑ 写真-3 アジュガの花弁

撮影日：2020年04月19日

影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

大和郡山市郊外の民家の庭先に咲いていました。遠目にはルピナスに似ていました。こんな所にルピナスが咲いていると思い、近づいてみると全く様子が異なりました。花卉はルリミゾカクシやジャーマンツリーに似ていました。

アジュガはセイヨウキランソウ (*Ajuga reptans*) から作出された園芸品種が多く栽培され、桃色と白の斑入り葉の品種やクリーム色の中斑の品種、小型の品種などがグラウンドカバーやコンテナで楽しまれています。日本に自生するジュウニヒトエ (十二単) やキランソウ (金瘡小草) もアジュガの仲間です。

アジュガの花は左右相称の唇形花で、はっきりした筒を持ち、先端は上下に分かれます。上唇はごく短くて二つに裂け、下唇は平らに大きく発達して三裂しますが、特に中央の裂片が大きく、その先端はさらに二裂することがあるそうです。雄蕊は4本あり、花冠の上唇に沿って斜めに伸び、先端には二室からなる葯を付けます。花の配列は穂状花序、葉は楕円形で縁には鋸歯があり、4月～5月に開花します。

子株のついたランナーを旺盛に伸ばし、日陰でもよく増えます。アジュガは地面を覆うように生長する「匍匐(ほふく)性」が多く、花の色や斑入り、ダークカラーなど、いろいろな葉の色合いの品種があるので、花の咲く時期と花がない時期の色を考えて植え付けると、見栄えのする植栽となります。根出葉はロゼット状で、葉は緑や赤紫、斑入の品種があります。

<ちょっと一言>

＊根出葉(こんしゅつよう)

植物の葉の形態の一種。根生葉(こんせいよう)、根葉(こんよう)とも言われます。地上茎の基部についた葉のことで、地中の根から葉が生じているように見えます。

＊ルピナス(マメ科ルピナス属)

→ 写真4 ルピナス

撮影日：2006年06月20日

影場所：パールダール(ノルウェイ)にて

撮影者：M さん



＊ルリミゾカクシ～ルリチョウソウ

(キキョウ科ロベリア属)

→ 写真-5 ルリミジカクシの花弁

撮影日：2014年05月24日

影場所：フェアバンクス(アラスカ)にて

撮影者：M さん



＊ツリージャーマンダー

(シソ科ニガクサ属)

→ 写真-6 ツリージャーマンダー

の花卉

撮影日：2018 年 04 月 21 日

影場所：メテオラ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん

